

平成 25 年 3 月 14 日

専門委員会開催報告

専門委員会名	第 3 回「安全対策高度化技術検討」特別専門委員会
開催日時	平成 25 年 3 月 13 日(水) 16:00 ~ 20:00
開催場所	三菱総合研究所本社 東急キャピトルタワー4 階 大会議室 A
参加人数	28 名 【委員】関村主査(東大)、岡本(東大)、糸井(東大)、杉本(京大)、阿部(東北大)、宮野(法政大)、本間(JAEA)、木下(電中研)、西田(日立 GE)、新井(東芝)、梅澤(MHI)、棚橋(JSW)、根岸(電事連)。 【常時参加者(非委員)】真子(電事連)、安部田(JANSI)、吉津(MHI)、吉田(INSS)、滝沢(MRI)、杉山(MRI)、松本(MRI)、芦田(MRI)、島(MRI)、於保(MRA)、中村(MRA)、高城(MRA)、古林(IEAJ)、横山(IEAJ)、磯崎(IEAJ)。
議 事	各議事における主な決定・確認事項は以下のとおり。 1. マップ策定作業(課題集約・整理の検討結果) ・事務局は 3/20 までに各機関から提出された残りの課題を、今回定めた整理表に落とし込んで、各委員に共有する。 ・各委員はプラント損傷状態を横軸に据えたシートの整理に基づいた技術課題を抽出し、次回の WG(4/2)で議論する。 2. マップ策定作業(外部事象に関する軸の整理) ・外的事象がマネジメントに与える影響については、注目点を絞ったことによるメリットを記載する。また、ある事象(例えば地震や津波事象)をカバーした時に、全体としてどこまでカバーできているのか(包絡できているのか)の検討に繋がる整理とする。 3. 国際シンポジウム SMtech2013 概要報告 ・シンポジウムの成果を技術マップに反映させる必要がある。 4. 海外調査報告 ・本調査は、過去の事例の中で、大規模な事故後における対応の成功事例を調べることを目的としている。 ・過去の事故の原因は、ほとんどがヒューマンファクターに起因したものであったが、福島事故は世界初の自然災害、外的事象であった。その意味では、9.11 テロについての調査の深掘りに期待したい。 ・米国は、TMI 事故があつたにもかかわらず人材育成・研究設備の維持、基盤技術の継承を行ってきた成功事例である。DOE における研究が人材育成をどうやってリードしてきたのかを調べることは非常に参考になる。 5. 総合討議 ・今年度の技術マップの検討対象は既設炉であるが、次年度以降は、環境変化を見据えて対象を広げることもあり得る。 ・レジリエンスという視点で、いろいろな事故からどう回復するかという視点も考慮する必要がある。

	6. 今後のスケジュール ・次回の WG は 4/2(火)の 16:00-18:00 に、総会は 4/22(月)午後に開催することとする。
備 考	

平成 25 年 3 月 11 日

専門委員会開催報告

専門委員会名	第 2 回「安全対策高度化技術検討」特別専門委員会
開催日時	平成 25 年 2 月 28 日(水) 18:00 ~ 20:00
開催場所	三菱総合研究所本社 東急キャピトルタワー4 階 CR-E
参加人数	25 名 【委員】関村主査(東大)、村松幹事(東京都市大)、岡本(東大)、糸井(東大)、杉本(京大)、中村(阪大)、阿部(東北大)、木下(電中研)、西田(日立 GE)、新井(東芝)、梅澤(MHI)、丸山(JAEA)。以下代理出席: 及川(東芝)、松澤(MHI)。 【常時参加者(非委員)】平山(METI)、真子(電事連)、安部田(JANSI)、滝沢(MRI)、中島(MRI)、杉山(MRI)、芦田(MRI)、島(MRI)、於保(MRA)、中村(MRA)、高城(MRA)。
議 事	<p>1. テーマレベルの漏れについて 議論の結果、主な確認事項は以下のとおり。 ・テーマレベルという意味では、①セキュリティの観点、②想定外を想定する、が抜けている。 ・どこまでに何をやるのかといった時間軸が抜けている。 ・短期・長期など時間軸の視点は、キーワードとして考慮しておく。</p> <p>2. 検討マップの整理方針について 議論の結果、主な確認事項は以下のとおり。 ・今後の整理軸としては、①事象進展(炉心損傷前・損傷後、格納容器損傷前・損傷後)、②外部事象による大規模な共通要因故障、中規模な共通要因故障、小規模な共通要因故障など。また、加えるとすればハードウェア・ソフトウェアなどである。</p> <p>3. まとめ 議論の結果、主な確認事項は以下のとおり。 ・まとめとしては、事象進展、外部事象、マネジメントの3次元イメージが共通認識であるとする。 ・産官学の役割分担を考える必要がある。また、緊急性の課題なのか、超長期で解決すべき課題なのかといった時間軸の概念も必要である。</p> <p>4. 今後のスケジュール ・次回は、3/13 の 16:00-18:00 から開催する。</p>
備 考	

専門委員会開催報告

専門委員会名	第 1 回「安全対策高度化技術検討」特別専門委員会
開催日時	平成 25 年 2 月 13 日(水) 16:00 ~ 19:30
開催場所	三菱総合研究所本社 東急キャピトルタワー4 階 大会議室 A
参加人数	<p>35 名</p> <p>【委員】関村主査(東大)、村松幹事(東京都市大)、岡本(東大)、糸井(東大)、宮野(法政大)、中村(阪大)、阿部(JNES)、木下(電中研)、西田(日立 GE)、松井(エネ総工研)、丸山(JAEA)、梅澤(MHI)。代理出席: 斎藤(東芝)、吉津(MHI)、松澤(MHI)。</p> <p>【常時参加者(非委員)】平山(METI)、立石(METI)、高須(電事連)、真子(電事連)、安部田(JANSI)、伊藤(NFD)、滝沢(MRI)、上野(MRI)、中島(MRI)、落合(MRI)、杉山(MRI)、松本(MRI)、芦田(MRI)、島(MRI)、於保(MRA)、中村(MRA)、高城(MRA)、阿部(IEAJ)、横山(IEAJ)、磯崎(IEAJ)。</p>
議 事	<p>1. METI 原政課「安全対策高度化技術基盤整備事業」の概要紹介</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経産省より事業の紹介を行った。 ・安全対策高度化技術マップ策定の実施計画について事務局より説明を行った。 <p>2. 諸外国の安全研究・技術開発に関する調査結果の報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・IEAJ より説明を行い、出席者から調査の視点等についての質疑応答があった。 <p>3. 安全対策高度化技術マップ策定に向けた基本的考え方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務局より説明を行い、出席者から技術マップの位置付けや本委員会での検討範囲等について質疑応答があった。 <p>4. アクシデントマネジメント技術マップの検討フレーム案について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務局より説明を行い、出席者から海外事例との関係やマネジメントに必要となる能力と知識等に関する質疑応答があった。 <p>5. 作業会の進め方について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作業の進め方について議論した結果、作業方針は以下のように決まった。 <p>対象: 既設軽水炉</p> <p>方針: 以下の作業を進める。課題・項目の洗い出しに際しては、細かめの粒度で、重要度の低いものも含める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 既存炉にとどまらない SA 対策の課題を洗い出す。 ● PIRT を参考に物理現象ベースで課題を洗い出す。 ● 既存の(福島第一)AM 策を参照して、強化すべきところを検討する。 ● 外部事象、FLEX ● 技術的知見 30 項目、IAEA、事故調報告書から課題を出す ● その他の要因
備 考	